

市民会館跡地エリア新施設・広場活用ワークショップ



ミルミル
フムフム
ツクール

主催 茨木市 運営 studio-L

WORK
SHOP
3

9/25(土)
アイデアを発想する

program

- 1 前回の振り返り
- 2 新グループ発表・ミニゲーム
- 3 試作(プロトタイプ)についての説明・事例紹介
- 4 イメージボード制作
- 5 グループ別発表



前回のふりかえり・社会実験に向けて

前回は、想像する・イメージを膨らませるということを中心に新施設で行いたい活動について話し合いました。新施設のパスや模型、VRの映像や実際の図面を見たり、「なりきり写真撮影会」や事例カードで理想の活動について考えました。その上で今回は、次回の試作発表会に向けて、「やってみる」ことを意識したワークや準備を行いました。



第2回講座の事前レクチャー



第2回のワークショップを始めるまでのEラーニングは事例集めでした。良い企画を生み出すにはたくさんの事例を見て学ぶインプットが大切です。自分がやってみたいと思うことに近い事例を集めました。

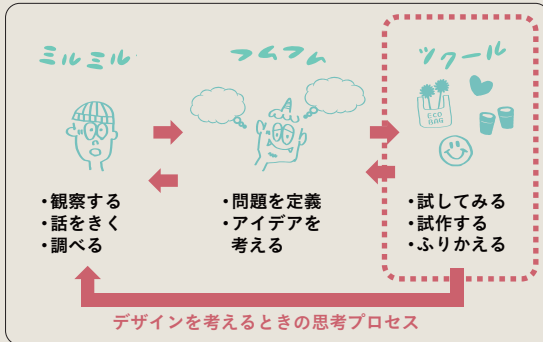
新グループ発表・ミニゲーム

次回の試作発表会に向けて共に活動をする新チームが発表され、アイスブレイクのミニゲームとして茨木童子のお絵描きリレーを行いました。イメージを膨らませ、それを伝えるという、これから重要になる作業の練習も兼ねています。各自の茨木童子のイメージをもとにチームでパーツを描き足していき、思いがけない出来上がりに笑いが起こる班もありました。



試作についての説明・事例紹介

○ 試作とは(プロトタイピングの位置づけ)



「デザイン思考」とは、「ミルミル(現地調査、課題定義)」、「フムフム(アイデア創出)」、「ツクール(試作、検証)」というステップを何度も行き来しながらアイデアを形にするデザインの思考プロセスです。今回の社会実験では、思い描いたことを、まず形にしてみる、というデザインのプロセスで重要な「試作」を実践します。また、それをお披露目することで、受け手側からのフィードバックなど様々な反応を得、学びに繋がっていきます。

○ 事例紹介

厚生労働省の補助事業として実施した介護福祉のデザインスクールの事例の紹介がありました。「イメージが悪い」「人手が足りない」という課題を抱える介護・福祉のことを少し違う視点から捉え、考える機会をつくるプロジェクトです。全国各地で様々な職業や立場の方々が参加。スタートから製作したプロトタイプ、最終発表会までのプロセスを学びました。



イメージボード制作



「新しく出来る新施設・広場でこんなことをしたい!」というイメージを表現して伝えるため、イメージボードの制作を行いました。各チームで簡単にそれぞれのしたいことを共有した後、5年後の新施設、各階でチームメンバーと共に過ごす1日を想像しながら、ボード上に理想の未来を表現しました。

グループ別発表

各チーム3分程度で、制作したイメージボードと行いたい活動についての説明を行いました。

- A** 「一人だけど一人じゃない 好きが繋がる自由空間」をコンセプトに、仕事からマルシェまで、それぞれが好きなことをしながら人とのつながりを生むことのできる取り組みをしたい! (7階)
- B** 茨城市民農園(仮)での焼き芋や、木から自分で選ぶ文房具作りなど、多様な体験を通して自分の居場所を探すことのできる居場所をコンセプトに活動したい! (4階)
- C** 子供たちが野菜を育て、食べ、汚れた服を洗うことまでできる農園や、子育て世代も音を気にせず楽しめる自由な図書館など、茨木市の持続可能性を意識し、「人間の巣」をイメージした取り組みをしたい! (2階)
- D** 移動カフェやヨガのイベントなど心身ともに憩いの場となる芝生スペースと、音楽ライブの場や、茨木の名産を置くマルシェなど、「茨木がいっぱい」をテーマに活動したい! (1階)
- E** 朝は野菜マーケットやヨガ、昼は採れた野菜を使ったランチづくりやリュックサックマーケット、夜は音楽コンサートやシアタートラックでの映画鑑賞!一日のイベントが盛りだくさんの場へ! (芝生広場)

